

シンクタンク機能事業（調査研究概要）

令和3・4年度内閣府委託事業

「我が国が戦略的に育てるべき安全・安心の確保に係る重要技術等の検討業務」

政策研究大学院大学政策研究院
(GRIPS Alliance)

* 本資料は、委託事業に関し令和4年10月18日に学内セットし内閣府に報告した資料及び令和4年11月29日の第2回安全・安心シンクタンク設立準備検討会に白石教授が提出した同内容の資料に基づき重要技術調査研究部分を抜粋・編集して作成したものである。

事業目的・背景

・我が国を取り巻く国際情勢は大きく変化、複雑化し、地政学的な緊張も高まる中、国民生活、経済活動に対するリスクは、感染症、テロ、サイバー攻撃といった様々な形で顕在化している。ロシアのウクライナ侵略は国際経済秩序へ大きな影響を与えている。様々な脅威に対して安全・安心を確保する上で、重要な技術分野に予算、人材等を重点的に配分するとともに、関係省庁、国立研究機関等が更に連携を強化し、必要な研究開発を効果的に推進する必要がある。

・上記の問題意識から、「国及び国民の安全・安心の確保に向けた科学技術の活用に必要なシンクタンク機能に関する検討結果報告書」（内閣府令和3年4月）に基づき、シンクタンク機能を立ち上げ、実際に運用することにより、我が国が戦略的に育てるべき安全・安心の確保に係る重要技術や国内外の戦略等の調査検討を進め、政府の重要技術等にかかる課題の政策決定等に資することを目的とする。

- －「知る」、「育てる」、「生かす」、「守る」の観点から関連情報を収集、分析、調査研究を実施する。
- －科学技術・イノベーションに関する高度な知見を持ち安全保障の観点も備えた専門家人材の確保、専門家ネットワークの構築を行う。
- －国内外関係機関と連携するとともに技術シーズ及び政策ニーズの関係情報を集約する。

（※令和3・4年度2カ年内閣府委託事業のGRIPS業務計画より引用）